

2 調査の実施及び処理

(1) 実施の時期及び処理

各校の合格者発表後、3月下旬から4月中旬までの間に、各校の実状に応じて適宜調査を実施した。なお、解答時間は50分とした（問題用紙はA4判右綴じ、解答用紙はA4判1枚）。

(2) 参加校及び生徒数

期限までに資料の提出があった132校（2学科以上ある参加校はそれぞれの学科を1校とした）の30,023名について諸調査統計の処理をした。内訳は表1のとおりである。

(表1)

| 課 程 | 全 日 制 | | | | | 定 時 制 | 全 体 |
|-------|--------|-------|------|------|-------|-------|--------|
| | 学 科 | 普通科 | 総合学科 | 商業科系 | 家庭科系 | | |
| 学 校 数 | 99 | 6 | 5 | 9 | 13 | 0 | 132 |
| 生 徒 数 | 26,327 | 1,475 | 594 | 510 | 1,117 | 0 | 30,023 |

(3) 統計上の調査事項

各参加校には次の事項について回答を求めた。

ア 個人別得点分布

イ 各校10%の無作為の抽出による、各小問ごとの個人得点

注 「群別正答率比較表」（6ページ）のA・B・C群は、(3)イの「各校10%の無作為の抽出による、各小問ごとの個人得点」を基に各学校を順位付けし、上位9校の抽出生徒300人程度をA群、平均点付近の学校の抽出生徒300人程度をB群、下位28校の抽出生徒300人程度をC群とし、調査対象としたものである。

(4) 小問別応答分析等（詳細分析は9ページから24ページまで）

4校から提供された300名の答案を到達度による得点区分によって、a群＝上位100人、b群＝中位100人、c群＝下位100人に分け、答案に直接当たって応答分析を行った。

なお、各群間の差がほぼ等間隔で付く場合は、〈a-b-c型〉、a群とb群、b群とc群との間隔の差が2：1程度以上で付く場合は、〈a-b c型〉、その逆の場合は、〈a b-c型〉、各群の間隔の差がほとんどない場合は、〈a b c型〉として分類してある。